

## 5月9日朝礼 校長講話

今朝は2つお話をします。

1つめは、金曜日に行った「なかま遠足」についてです。

朝、バスに乗ったら、こんな声が聞こえてきました。「わたし、楽しみで楽しみで、朝5時に目が覚めちゃった」って。きつとうれしくてうれしくて、わくわくして目が覚めたんだと思います。バスの中も楽しみで、一日向こうで過ごすことも楽しみで、そのときのみんなの気持ちは楽しみ一色だったことでしょう。それができたのは、みんな一人一人がなかま班の約束をしっかりと守ったからだと思います。また、高学年の子がとっても色々なことに気を遣ってくれたおかげだと思います。きっと6年生の子たちも一番好きなことで遊びたかったと思います。(なんでこんなことせないかんのだろう)(わたしだって遊びたい)いろいろなことを思ったことでしょう。でも、楽しむばかりでなく、他の人のために自分にできることをするという事で、また心が成長する、とてもよい経験になったのではないのでしょうか。精一杯楽しむ子がいて、人のために働く子もいて、とてもよい「なかま遠足」になったと思います。



2つめは、「がんばれ底力くん」というお話です。みなさんは、自分の持っている力のどのくらいを使って生活していると思いますか。全部を100とすると半分の50くらい。それとも、50よりは多いけど100まではいかないくらい。それとも100。この3つで教えてください。

たぶんみんなが手をあげてくれた、50より多いけど100じゃなくて、60とか70とか80とかかなと思います。先生もそうです。

底力くんを鍛えるためには「えらいなあ」「つらいなあ」「やめたいなあ」と思ったときにもうひとばんやりすることで強くなります。それが、これからある運動会や4年生以上が参加する陸上競技会とかで、つらいなあと思うときがきっと来ると思います。そんなとき「がんばれ底力くん」と思ってがんばってください。そうすると底力がひとまわりもふたまわりも強くなります。期待しています。